

「幼児期に育てたい力」の具体例 初生幼稚園 バージョン（1 学期）

1 健康な心と体

体づくり



気候の良い時には、1時間程度戸外に出て、走ったり遊具で遊んだりして十分に体を動かすようにすることで、健康で安全な生活を送ることにつながっていきます。

清潔



着脱



食事



毎日の積み重ねで、身の回りの始末、食事のマナー、手洗いやうがい、歯磨きなどが身に付いていきます。また、自分たちの生活の場を整えていくことを通して、気持ちよく生活ができることに気付いていきます。

安全



横断歩道の渡り方、信号機の見方などを大人と一緒に行うことで、交通ルールが身に付いていきます。



繰り返し訓練することを通して、避難訓練の意味が分かり、自分の身を守る行動がとれるようになっていきます。

I
自分のことを
自分でする力

幼児期に 育てたい力

2 自立心



先生や友達の姿に刺激されて、自分もやってみようという気持ちになり、自分から主体的に遊んだり取り組んだりするようになっていきます。

3 協同性



遊びや友達との関わりの中で、「こうしたい」という共通のイメージを次第にもつようになります。

集団遊びを経験していく中で、ルールを守ると楽しく遊べるということが分かるようになります。

4 道徳性・規範意識の芽生え



身近な人に思いを受け止められていく経験を通して、徐々に相手の話を注意して聞くようになっていきます。

6 言葉による伝え合い



5 社会生活との関わり



身近な人との関わりを通して、いろいろな人と関わることの喜びを感じるようになります。

II
人と関わる力

III 身近なものや出来事と関わる力

7 思考力の芽生え



様々な性質の素材やものに出会い、好奇心や探求心が育っていきます。



様々な道具を使って遊びを始め、失敗しても繰り返し試してじっくり遊ぶことで、自分の考えをよりよいものにすることができます。

8 自然との関わり・生命尊重



動植物の変化や生長を楽しむことで、生命を大切にしようという気持ちが育まれていきます。



9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



遊びの中で、簡単な数や量に関心をもち、数えたり比べたりすることを通して、数量や図形などへの感覚が深まっていきます。

10 豊かな感性と表現



自分なりのイメージをもち、かいたりつくったり、なりきったりすることを楽しみます。表現することを通して、感性がより豊かなものになっていきます。